

2014年9月26日  
住友ベークライト株式会社

日本政策投資銀行の環境格付において最高ランクの格付を取得

住友ベークライト株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：林 茂）は、このたび株式会社日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」の評価において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しましたのでお知らせいたします。

今回の格付では、以下の点が高く評価されました。

- (1) 非可食植物からフェノール樹脂を生産する「グリーンフェノール」など、ライフスタイルの変化や広範囲にわたる社会や環境課題の解決に資する製品や技術を開発している点
- (2) 環境会計の一種である MFCA (Material Flow Cost Accounting) から発展させた生産管理手法に基づく品質改善、生産革新、省エネルギー化など、生産性の向上と環境負荷の低減を一体化させる多角的な取り組みを行っている点

住友ベークライトは企業活動のあらゆる面でレスポンシブル・ケア (RC) に取り組み、環境の保全と安全・健康の確保に留意して行動し、企業の社会的責任を果たしてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

総務本部コーポレート・コミュニケーション部広報担当

TEL 03 (5462) 4818